

記入例

薬局製造業許可申請書

(宛先)  
広島市保健所長

〒730-8586 電話082-245-2111  
住所 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

氏名 株式会社〇〇〇 代表取締役 廣島 太郎

主たる事務所とは、登記事項証明書に記載された本店 → (法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

次のとおり、薬局製造販売医薬品の製造業の許可を申請します。

薬 局 の 名 称		〇〇薬局	
薬 局 の 所 在 地		〒730-0043 (電話) 082-241-7408 (FAX) 082-241-2567 広島市中区富士見町1番27号 1階 ←ビルの階も記入	
許 可 の 区 分		薬局製造販売医薬品製造業	
製 造 所 の 構 造 設 備 の 概 要		薬局等構造設備規則第1条第1項のとおり	
(法人にあっては) 薬事に関する業務に責任を有する役員の名		〇〇〇 △△△ □□□	
管 理 者	氏 名	環 境 衛	資格 薬剤師名簿登録 第〇〇〇号 〇〇年 ××月 ××日
	住 所	〒730-9999 広島市〇区〇〇町〇〇番〇〇号	
有する役員(法人にあっては、薬事に関する業務に責任を有する役員を含む。)の欠格条項	(1) 法第75条第1項の規定により許可を取り消され、取消の日から3年を経過していない者	なし	
	(2) 法第75条の2第1項の規定により登録を取り消され、取消の日から3年を経過していない者	なし	
	(3) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった後、3年を経過していない者	なし	
	(4) 法、麻薬及び向精神薬取締法、毒物及び劇物取締法その他薬事に関する法令で政令で定めるもの又はこれに基づく処分を違反し、その違反行為があった日から2年を経過していない者	なし	
	(5) 麻薬、大麻、あへん又は覚醒剤の中毒者	なし	
	(6) 精神の機能の障害により製造業者の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者	なし	
	(7) 製造業者の業務を適切に行うことができる知識及び経験を有すると認められない者	なし	
薬 局 許 可 の 取 得 状 況		<input checked="" type="checkbox"/> 本申請と併せて申請 (該当する項目に <input checked="" type="checkbox"/> してください。)	
		<input type="checkbox"/> 許可取得済み (許可番号・年月日 第 号 年 月 日)	
備 考			
担 当 者 所 属 ・ 氏 名 等		〇〇〇〇課 環 境 衛 (電話) 〇〇〇〇	

該当しなければ「なし」と記入

※ 軽微な誤記、明らかな誤字脱字、記載漏れ等は、市が訂正・追記します。(承諾されない方はお申し出ください。)  
 ※ 申請者の欠格条項の(1)欄から(7)欄までには、当該事実がないときは「なし」と記載し、あるときは、(1)欄及び(2)欄にあってはその理由及び年月日を、(3)欄にあってはその罪、刑、刑の確定年月日及びその執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった場合はその年月日を、(4)欄にあってはその違反の事実及び違反した年月日を記載してください。また、(6)欄に該当するおそれがある者については、同欄に「別紙のとおり」と記載し、当該申請者に係る精神の機能の障害に関する医師の診断書を添付してください。

◎ここから下には記入しないでください。

受付印	調査年月日	施設基準等	審査者	許可年月日	許可番号
		適・否			広保局
					第 号
	(受付)	(伺い)			
	係	専門員	係	係長	課長
				照合	公印 施行